

(別紙4(2))

事業所名 : グループホーム美ら里さしき

作成日 : 平成 28 年 2 月 11 日

目標達成計画

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。
目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合わせた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	4 (3)	①運営推進会議に入居者の参加がある月とない月がある。 ②ヒヤリ・ハットや福祉事故が発生した月のみの報告で発生していない月の報告がない。 活動報告マニュアル化されていないのが要因	運営推進会議での報告を行い、開かれたホーム作りに努める。	①1月の運営推進会議から、入居者、職員交えてリビングで開催している。 ②活動報告マニュアルを作成し、1月の運営推進会議から活用している。	3ヶ月
2	6 (5)	入居者1名ベッド柵設置の身体拘束実施。家族の同意書とっているものの、状態確認の定期的な話し合いできていない。	状態確認を行い、身体拘束排除に努める。	①1ヶ月ごとに身体状態の確認・話し合いを行い文書にまとめる ②他の方法で身体拘束排除できないか対応策を模索する。	12ヶ月
3	35 (13)	年2回の消防訓練に地域住民の参加がない	地域住民との消防訓練を通して、入居者の状態・ホーム構造の把握を行うことで、万が一の火災時の避難誘導をスムーズに行える。	①区長さんへ消防訓練の呼びかけ・協力を求める。 ②隣の畑の方へ避難誘導後の見守りを願う ③区の情報誌に掲載して頂き、協力を呼びかける。	12ヶ月
4					ヶ月
5					ヶ月

注)項目の欄については、自己評価項目のNo.を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入してください。